



海外語学研修(英語) 派遣先大学概要



2023年3月
グローバルスキルズチーム

夏季コース 派遣先大学



【米国】

- ・ ペンシルヴァニア大学
- ・ ボストン大学
- ・ カリフォルニア大学デーヴィス校



【英国】

- ・ グラスゴー大学
- ・ サセックス大学
- ・ ロンドン大学東洋・アフリカ研究院



【豪州】

- ・ シドニー大学

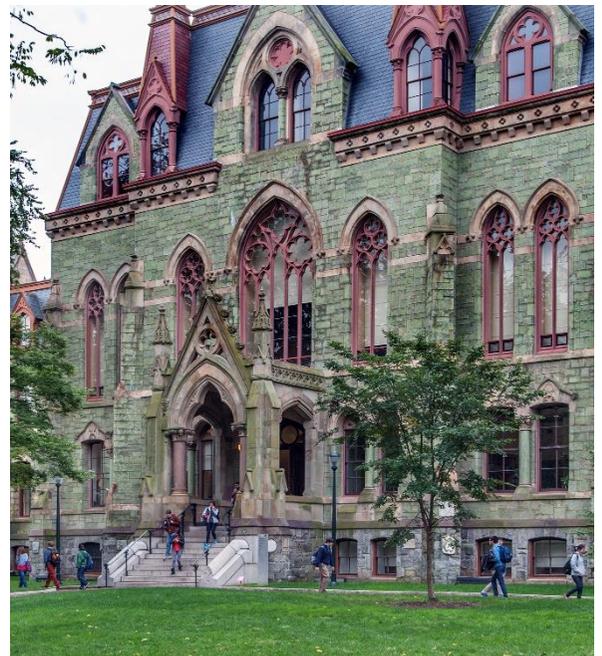


■所在地 米国ペンシルヴァニア州 フィラデルフィア

■都市情報 ニューヨークとワシントンD.C.のほぼ中間に位置する米国第6の都市。独立宣言が採択されたアメリカ合衆国誕生の地であり、自由の鐘のあるインディペンデンス国立歴史公園など歴史的な施設や美術館、博物館が見所。東部標準時に属し、日本との時差は-14時間。サマータイム期間（23/3/12～23/11/5）は-13時間。8月の平均最高気温は約29℃、最低気温は約19℃。

プログラム概要

派遣期間	2023年7月30日（日）～ 2023年8月27日（日）
研修先	1740年創立で、米国北東部の名門私立大学8校から成るアイビーリーグに属する。本学の協定校である。同大学のウォートン・スクールは世界的に最も高い評価を得ている名門ビジネススクールの一つ。優れたビジネス英語教育プログラムを実施している。
クラス形態	オープンクラス (Institute for Academic and Professional Studiesコース)
カリキュラム 20時間/週	<ul style="list-style-type: none"> ・4週間プログラム ・上級英語力を有する学生を対象とした発展コース。 ・コアコース+ 2 選択科目 (6つの選択科目からレベルに合わせて2つを選択) <ul style="list-style-type: none"> ・大学教授によるレクチャー ・アメリカ社会、文化体験アクティビティを予定 <p>※参加者は、ブックストアにて教科書を購入する。</p>
語学要件	TOEFL-ITPスコア500点～上限なし
滞在先	学生寮（プライベートルーム・シェアルーム） *食事なし（自炊または外食対応が必要）
主な参加者 出身国	*夏季休暇中の為、日本人の割合が高い可能性があります。





■ 日程表

日次 / 月日(曜)	地名	スケジュール
1 7月30日(日)	東京(羽田)発	空路、アトランタへ 国際日付変更線
	アトランタ着 アトランタ発 フィラデルフィア着	アトランタで乗り継いでフィラデルフィアへ 研修先へ移動 <学生寮>
2 7月31日(月)	フィラデルフィア	調整日 <学生寮>
3 8月1日(火)	フィラデルフィア	ペンシルヴァニア大学にて研修参加 <学生寮>
27 8月25日(金)		
28 8月26日(土)	フィラデルフィア発 アトランタ着 アトランタ発	空港へ移動 空路でアトランタへ アトランタで乗り継いで東京(羽田) 国際日付変更線 <機中泊>
29 8月27日(日)	東京(羽田)着	

■ 参加費用 (概算)

参考費用 6月中旬に確定予定

1. 大学基金奨学金の算定対象に含まれるもの : 1,270,000円 (参考費用)

- ・研修代金 (入学金、登録料、授業料、空港送迎代金、宿泊代、手続き・サポート代金)
- ・航空券代 (エコノミー) ・空港諸税 ・空港施設使用料 ・燃油サーチャージ ・航空保険料 ・米国査証取得代金 ・企画代金

2. 大学基金奨学金の算定対象に含まれないもの (個人負担) : 35,000円 (参考費用)

- ・海外旅行傷害保険料 ・危機管理サービス (OSSMA)

3. その他 (以下の項目については各自算出のこと)

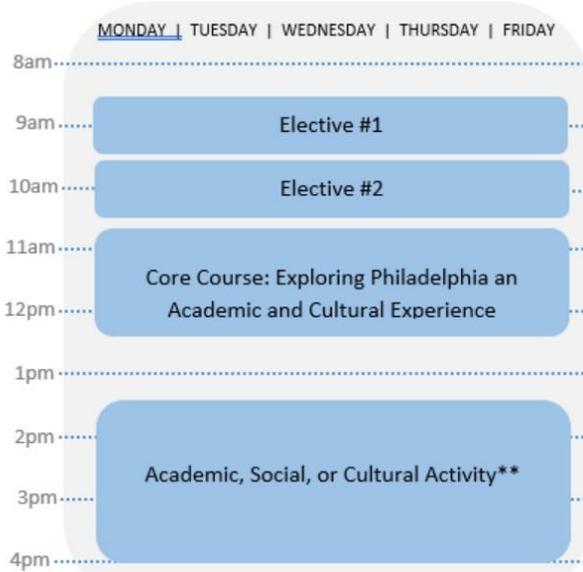
- ・自宅から空港までの往復交通費 ・超過手荷物代金 (航空会社規定による)
- ・上記以外の渡航手続きにかかる一切の費用
- ・渡航先での小遣い、上記宿泊代に含まれない食費 ・宿泊先から大学までの交通費 ・課外活動費 (任意参加のもの)
- ・その他上記1及び2に含まれない費用





Sample Class Schedule

20 academic hours per week*



*1 academic hour = 50 minutes

**Academic, social, or cultural activities are typically scheduled 2-3 times per week for students



レベル	IAS選択科目
初中級 ～中級	① Communications この科目では政治・ビジネス・エンターテイメントの実際のケーススタディーを分析して、SNSや広報、危機管理などのトピックを探求します。
中級～ 上級	② Innovation & Technology この科目では技術革新について探求します。複雑な概念を分かりやすい学術用語で説明するスキルを身につけ、テクノロジーに関する公式・非公式なプレゼンテーションを行います。
全レベル	③ Leadership この科目ではチームと一緒に成長し、学び、成功を収める方法と、リーダーが現れる方法に焦点を当て、組織のダイナミクスを探求します。リーダーが使用するプレゼンテーション戦略を分析し、チームプロジェクトやクラスプレゼンテーションに効果的な言語および非言語コミュニケーション戦略を組み込みます。
中級～ 上級	④ Positive Psychology and Resiliency この科目では、成長中のポジティブ心理学の分野を紹介し、この分野の概念である、特徴的な強み、ポジティブな感情、回復力、グリットなどを探求します。
上級	⑤ Professional Business Writing この科目では、様々なコミュニケーションスタイルテキストのサンプルを分析することにより、専門的なコミュニケーションの定義の理解を深めることができます。電子メールや手紙の形式、専門的な履歴書を作成する方法を調べます。
上級	⑥ Strategic Planning and Persuasive Communication この科目は、説得力のあるスピーキングスキルを向上させ、企画提案と販促するのに役立つように設計されています。効果的なスピーキングの要素について学び、ビジネスと広報におけるプレゼンテーションスキルを開発します。
中級～ 上級	⑦ Sustainability この科目では、限られた資源と拡大するニーズという地球規模の問題に対する批判的な認識を養います。歴史的、文化的、そして個々の持続可能な、あるいは持続不可能な実践例を通して、人々の選択が社会的、経済的、そして環境に与える影響について考察します。

*スケジュールはあくまでも参考例です。諸事情により変更になる場合があります。



「ペンシルヴァニア大学は、自分次第で
様々な経験が出来る大学です。」
(2019年度派遣学生によるキャッチコピー)

2019年度参加者からの声

授業・課題

大学生をターゲットにした架空の商品を作り、その商品のウェブサイト・プロモーションビデオを作成し、最終週にプレゼンを行った。パートナーは中国の学生だったが、これでもかというくらいに英語が通じず苦労した。価値観の衝突もあった。結局ウェブやビデオは何とか完成したが9割型私が作成することになり、協力の必要性を痛感した。一方で文化圏の違う人間と協力することは言語的・文化的に想像以上に難しいと実感した。両方の面で協力は“有難い”と感じた。(経・1年)

The most important point is to participate actively in class. Try to raise your hand and speak up in class, even if you are nervous or worried that you make fool of yourself. In fact, no one will laugh at you because everyone in the class are taking this program to improve their English. (法・1年)

課外活動

ペノベーション・センターは、ペンシルベニア大学が手掛けたイノベーションを促進する施設で、我々は中を見学させてもらった。このセンターでは若手の起業家や大企業に施設内のオフィスを安く貸出し、若者の起業を促進すると共に、企業と相互の情報提供によるイノベーションを目指している。優秀な人材をフィラデルフィアにつなぎとめて置きたいという理由で、この施設を大学が設置したそうだ。日本とは国土も人口も全く違うアメリカは、将来構想が壮大で驚いた。(経・1年)

1週目の週末、ワシントンへの一日旅行に参加し、スミソニアン博物館に行った。映画ナイトミュージアムの聖地でもある博物館は想像以上の大きさでとても満足できた。また、2週目にはメジャーリーグの試合を観戦した。対戦カードは地元フィリーズとダルビッシュ有所属のテキサスレンジャーズだった。幸運なことに、その日の試合でダルビッシュが先発し、とても興奮した。フィリーズが最終回に逆転満塁ホームランをすると球場は大変盛り上がり、周囲にいた現地のアメリカ人とも興奮を共有した。(経・1年)

寮 (2019夏季はInternational House of Philadelphia、春季はThe Axisに滞在)

やはり国際寮では様々な国籍の人との交流があった。談話室で私が食事をしていると、スイートメイトが話しかけてくるなどして、積極的なコミュニケーションをはかってきた。また、フロア全体でパーティーがおこなわれることも多々あり、そのたびに様々な背景を持つ人と話し、英語力の発展に加えて、視野も広げることができた。(法・1年)

寮の至る所に学習スペースが用意されており、放課後クラスメイトと課題を一緒に取り組んだり、談笑したりした。加えて、寮の地下には卓球スペース、ビリヤード台、イベントルームがあり、クラスメイト達と卓球をやり、日本対中国という国際戦のようなものもした。不満な点は、時期的な問題もあると思うが、他のルームメイトとの交流が少なかった点だ。しかしながら、総じて良い生活ができたかなと感じており、今後の留學生活の1歩としては大変よかったと感じている。(経・1年)



■ **所在地** 米国マサチューセッツ州 ボストン

■ **都市情報** アメリカの中で最も古い街のひとつで、アメリカ独立の舞台となったところ。独立戦争ゆかりの歴史スポットは、歩道上に赤レンガの線で引かれた「フリーダム・トレイル」と呼ばれる歴史観光ルートでたどることができる。ハーバード大学やMITなど約60もの大学があり、ボストン美術館などアカデミックな要素もあり、日本からの留学も多い。東部標準時に属し、日本との時差は-14時間。サマータイム期間（23/3/12～23/11/5）は-13時間。7月の平均気温は最高28℃、最低は18℃。8月の平均気温は最高27℃、最低18℃。

プログラム概要

派遣期間

2023年7月15日（土）～
2023年8月13日（日）

研修先

1839年創立。古くより有色人種や女性、留学生を積極的に受け入れていることで知られている。世界約140か国から集う5千人の留学生を含む、3万人超えの学部生・大学院生が学ぶ。主要な世界大学ランキングで100位以内に入っている。大学都市ボストンでも最大規模かつ代表的な名門私立大学。

クラス形態

オープンクラス (Future Leaders in Innovation and Entrepreneurshipコース)

カリキュラム
20時間/週

- ・新しいベンチャービジネス等を行うために必要となるビジネス英語スキル向上を目的とした、ビジネスリーダーを目指す学生向けのハイレベルなコース。
- ・講義、ケーススタディ、チームプロジェクト、ゲストスピーカーによる講義、企業訪問を取り入れたカリキュラムを構成。
- ・フィールドトリップあり。
(イノベーションセンター・ビジネスコンペティション見学等)

語学要件

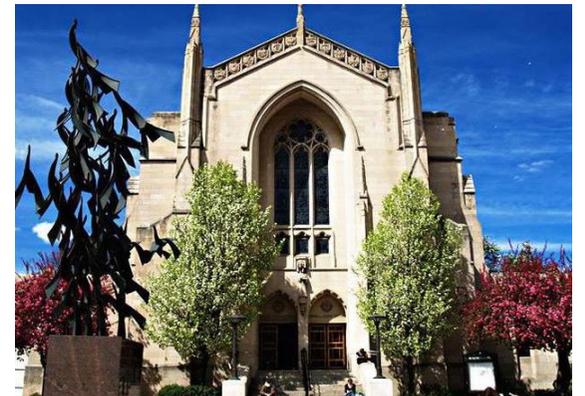
TOEFL-ITPスコア500点～上限なし

滞在先

ホームステイ
*平日 2食、週末 3食付
*ホストファミリーと一緒に計画を立て一日を過ごす
"Family Day"を1日実施予定
※**ダブルプレースメントの可能性あり。**

主な参加者
出身国

***夏季休暇中の為、日本人の割合が高い可能性が
あります。**



Marsh Chapel



ボストン大学のマスコット Rhett





■ 日程表

日次 / 月日(曜)		地名	スケジュール
1	7月15日(土)	東京(成田)発	空路、ボストンへ 国際日付変更線
		ボストン着	研修先へ移動 〈ホームステイ〉
2	7月16日(日)	ボストン	調整日 〈ホームステイ〉
3 28	7月17日(月) 8月11日(金)	ボストン	ボストン大学にて研修参加 〈ホームステイ〉
29	8月12日(土)	ボストン発	空港へ移動 空路、東京(成田)へ 国際日付変更線 〈機中泊〉
30	8月13日(日)	東京(成田)着	

■ 参加費用 (概算)

参考費用 6月中旬に確定予定

1. 大学基金奨学金の算定対象に含まれるもの : 1,270,000円(参考費用)

- ・研修代金 (入学金、登録料、授業料、空港送迎代金、宿泊代、手続き・サポート代金)
- ・航空券代 (エコノミー) ・空港諸税 ・空港施設使用料 ・燃油サーチャージ ・航空保険料 ・米国査証取得代金 ・企画代金

2. 大学基金奨学金の算定対象に含まれないもの (個人負担) : 35,000円 (参考費用)

- ・海外旅行傷害保険料 ・危機管理サービス (OSSMA)

3. その他 (以下の項目については各自算出のこと)

- ・自宅から空港までの往復交通費 ・超過手荷物代金 (航空会社規定による)
- ・上記以外の渡航手続きにかかる一切の費用
- ・渡航先での小遣い、上記宿泊代に含まれない食費 ・宿泊先から大学までの交通費 ・課外活動費 (任意参加のもの)
- ・その他上記1及び2に含まれない費用



ティーパーティー美術館



ボストン美術館

Sample Program Calendar

The timings and days of activities listed may be adjusted subject to availability.

Day/Week	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
Week 1	Program Orientation, Getting to Know Each Other & Introduction to Capstone Project BU Campus Tour and Student ID Registration	Expectations, forming teams, & team building for the Capstone Project Team Building and Group Dynamics Intro activity	Characteristics of an Effective Team - activities Guest Speaker Lecture #1 How to Read a Case Study	Shark Tank: Product Pitch Examples BUild Lab Visit	Invention vs. Innovation Presentation: Important Inventors and Innovators Creating a Pitch: Guided Workshop/ Preparation for Product Pitches
Day/Week	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
Week 2	Marketing and Advertising English through Case Studies: Case Study Analysis #1 Visit to District Hall—Boston's home for Innovation	Entrepreneurship-Lifestyle and Mindset Guest Speaker Lecture #2 Exploring Boston, Roxbury and Cambridge Innovation Centers	The Marketing Mix: The Four Ps + The Four Ps in Action Developing Elevator Pitches Shark Tank presentations	Art & Creativity in Relation to Successful Entrepreneurship	Effective Business Communication Conflict resolution and 360 feedback
Day/Week	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
Week 3	Capstone Project: Creating and Presenting Effective Slide Presentations	Company Brands and Global Marketing Guest Speaker Lecture #3 Cambridge Innovation Center Visit	Capstone Project: Name and Logo English through Case Studies: Case Study Analysis #2 Office Hour appointments with BUild Staff	Capstone Project Presentations: Product Pitches How to Impress Your Potential Investors Overcoming adversity, managing change and learning from failure	Introduction to the Business Plan Assignment
Day/Week	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
Week 4	Research Project Work in Teams (Developing Business Plan)	The Importance of Leadership in Innovation & Entrepreneurship Guest Speaker Lecture #4	Research Project Work in Teams (Business Plan) Team Preparation for Final Presentation English through Case Studies: Case Study Analysis #3	Local Company Visit Women (and other minorities) in Business Team Practice for the Final Competition	Final Presentation: Business Plans Course wrap-up & Program Evaluation End-of-Program Certificate Ceremony

「ボストン大学は、やりがいのある課題、
多様な仲間と成長できる大学です。」
(2019年度派遣学生によるキャッチコピー)

2019年度参加者からの声

授業・課題

1か月間で一つのビジネスプランを作り上げることがこのコースの主な目的である。商品名、会社名、市場調査とその分析、競争会社の分析、店舗の場所や値段、プロモーション方法など、自分達が決めたビジネスを4週間かけて仕上げた。ビジネスを考案する上で必要な知識を先生が教えてくれ、ハーバードビジネススクールの教材を使ったケーススタディを班で行い、毎日が刺激的だった。商学の知識がなくても分かりやすいように先生が説明してくれるので全く問題はないと思う。起業にあまり興味がなくてもクリエイティブなアイデアを皆で共有でき、十分に楽しめる内容だった。(商・2年)

一緒にプレゼンを行うチームに、中国の学生が3人いた。この3人とディベートをしていく中で大変だったことは、中国訛りの英語だ。最初は単語が聞き取れずに苦労していたが、先生が中国人生徒の発言をしっかりと理解していることに気がついた。そして私自身も慣れていくうちに聞き取れるようになった。最初は苦手意識が強かったものの、自分にとって、これから英語で様々な文化圏の人と話すことを考えると、価値のある時間を過ごせたと思う。(経・1年)

課外活動

授業とは関係なく大学の提供するアクティビティはほぼ毎日のようにあり、その面でも充実していたように思う。異文化交流と称して民族料理を振る舞う小規模なパーティーのようなものを度々行っていた他、近くの観光地への小さいツアーもやっていた。(経・3年)

最初に勉強とは少し離れ、頭と身体を使うレク施設を訪れた。ここでのテーマは「チームワークを深めること」。このプログラムは4週間固定の3~4人グループで進められるため、その中でチームワークが非常に重要であった。実際、授業開始2日目で訪れたので最初はグループメンバーと打ち解けられるか不安だったが、終わった頃にはどのグループも気軽に話せるようになっており、この体験の重要性を感じた。(社・2年)

ホームステイ

I spent one month with a 79 years old woman. The great thing about homestay was that I could enjoy American life. The differences between American life and Japanese are large. When I got home, I talked with my host mother about what happened today. She seems to have stayed with many international students. Encouraged me to play with friends. At first I was confused by my poor English ability. However, they gradually became used and began to communicate. (商・1年)

ホームステイをしたこの1ヶ月の滞在は生涯忘れたくないほど、本当に有意義な時間となり、素敵なホストマザーに恵まれたことに心から感謝している。何よりも嬉しかったことは、ホストマザーが家族のように受け入れてくれたことだ。ホストマザーは夕方6時過ぎまで自宅で仕事をしており、それが終わってから夕食を作ってくれた。私自身も料理が好きのため、忙しく無い限り夕飯を一緒に作った。一緒に料理をしたことで、彼女を家族のように感じ、毎日の帰宅が本当に楽しみだった。(社・2年)



UC Davis Extension <https://cie.ucdavis.edu/academic-preparation-and-pathway-programs/communication-and-culture-4-weeks>

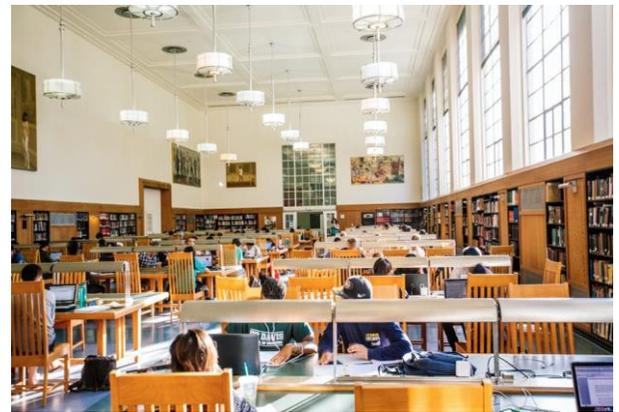


■所在地 米国カリフォルニア州 デービス

■都市情報 のどかな田園風景が広がるデービスは、住民の半分以上がカリフォルニア大学関係者というアットホームな大学街。ワインの産地として有名なナパバレーやカリフォルニア州の州都サクラメントにもほど近く、四季折々の美しい自然が楽しめる。自転車の街としても知られている。日本との時差は、-17時間。サマータイム期間（23/3/12～23/11/5）は-16時間。平均最高気温8月が34℃、9月が32℃。最低気温は8月が14℃、9月が13℃。

プログラム概要

派遣期間	2023年8月9日（水）～ 2023年9月10日（日）
研修先	カリフォルニア大学機構(UC System)の1校で、広大なキャンパスを有する。付属のUC Davis Extensionは1960年から留学生向け英語教育をはじめとする生涯学習を提供しており、UC Systemの英語研修プログラムの中でも最も歴史があり評判が高い学校の一つ。カリフォルニア大学は本学の交流協定校。
クラス形態	オープンクラス(Communication and Culture Programコース)
カリキュラム 20時間/週	<ul style="list-style-type: none"> ・日常英語とアメリカ文化紹介を中心としたプログラム。 ・以下の4つの柱に沿った授業。 Intellectual Research Project US Society and Culture Listening and Pronunciation Everyday Expressions and Idioms
語学要件	TOEFL-ITPスコア450点～上限なし
滞在先	ホームステイ *平日 2食、週末 3食付 ※ダブルプレースメントの可能性あり。
主な参加者 出身国	*夏季休暇中の為、日本人の割合が高い可能性があります。



キャンパス内にはEggheadsというオブジェが7つあり、それぞれ意味や教訓がある。↓



 Davis
California





■ 日程表

日次 / 月日(曜)		地名	スケジュール
1	8月9日(水)	東京(成田)発	空路、サンフランシスコへ 国際日付変更線
		サンフランシスコ着	研修先へ移動 〈ホームステイ〉
2	8月10日(木)	デーヴィス	調整日 〈ホームステイ〉
3 31	8月11日(金)	デーヴィス	カリフォルニア大学デーヴィス校にて研修参加 〈ホームステイ〉
	9月8日(金)		
32	9月9日(土)	サンフランシスコ発	空港へ移動 空路、東京(成田)へ 国際日付変更線 機中泊
33	9月10日(日)	東京(成田)着	

■ 参加費用 (概算)

参考費用 6月中旬に確定予定

1. 大学基金奨学金の算定対象に含まれるもの : 990,000円(参考費用)

- ・研修代金 (入学金、登録料、授業料、空港送迎代金、宿泊代、手続き・サポート代金)
- ・航空券代 (エコミー) ・空港諸税 ・空港施設使用料 ・燃油サーチャージ ・航空保険料 ・米国ESTA取得代金 ・企画代金

2. 大学基金奨学金の算定対象に含まれないもの (個人負担) : 35,000円 (参考費用)

- ・海外旅行傷害保険料 ・危機管理サービス (OSSMA)

3. その他 (以下の項目については各自算出のこと)

- ・自宅から空港までの往復交通費 ・超過手荷物代金 (航空会社規定による)
- ・上記以外の渡航手続きにかかる一切の費用
- ・渡航先での小遣い、上記宿泊代に含まれない食費 ・宿泊先から大学までの交通費 ・課外活動費 (任意参加のもの)
- ・その他上記1及び2に含まれない費用





UC Davis Extension <https://cie.ucdavis.edu/academic-preparation-and-pathway-programs/communication-and-culture-4-weeks>

Sample Schedule

1st Week ~ 4th Week

	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
9-9:50 a.m.	U.S. Society and Culture	Weekly Special Presentations (10-11:30 a.m.)			
10-10:50 a.m.	Listening and Pronunciation	Listening and Pronunciation	Listening and Pronunciation	Listening and Pronunciation	
11-11:50 a.m.	Intercultural Research Project	Intercultural Research Project	Intercultural Research Project	Intercultural Research Project	
12-1 p.m.	Lunch	Lunch	Lunch	Lunch	Lunch
1-1:50 p.m.	Everyday Expressions and Idioms				
3 p.m.	Movie and Popcorn	Conversation Groups	Arts and Crafts	Conversation Groups	Ice Cream Social

*スケジュールはあくまでも参考例です。諸事情により変更になる場合があります。





「カリフォルニア大学デーヴィス校は、
穏やかな環境で多くの経験ができる大学です。」
(2022年度派遣学生によるキャッチコピー)

2022年度参加者からの声

授業・課題

リサーチプロジェクトの授業では、アメリカの文化や生活について自分でテーマを決め、質問を考えて現地の人10人以上にインタビューし、それをまとめて最終的にプレゼンテーションを行うというものであった。この授業ではすべて自分で考えて行動しなければいけないので、特に一番主体性・積極性が身につくきっかけになったと感じている。先生は一人一人の生徒に対して丁寧にアドバイスを下さり、とても親身にサポートしてくれたので最後まで楽しくプロジェクトを進められた。(商・2年)

Before visiting the U.S., I set "cross-cultural exchange" as my primary goal for this study abroad program, and the group work-oriented classes at UCD were very beneficial in achieving this goal. Also, some of the homework assignments in the classes required us to ask questions to our host families, which naturally increased the number of opportunities to interact with my host mother or father. (法・3年)

課外活動

ヨセミテで撮った写真はどれも壮大で僕のお気に入りの映画『ロード・オブ・ザ・リング』の世界に入り込んだような気がした。今回は時間の関係で岩山の中腹までしか行けなかったが、今度来たときは頂上まで登ってみたい。ヨセミテは、カリフォルニアに来たら絶対訪れるべき場所の一つだと僕は思う。オプションツアーにはヨセミテとロサンゼルス2つの2つがあるが、どちらか一つを選ぶとしたらヨセミテを選ぶべきだと思う。ロサンゼルスと違って、ヨセミテは気軽に行ける場所ではないからだ。(商・1年)

学校では、放課後にスポーツやアイスクリームを食べる会のようなイベントがほとんど毎日開かれており、生徒同士がコミュニケーションを取り合える環境づくりがされているように感じた。UCデーヴィス側が開いているプログラムには3種類あるらしく、自分の所属しているプログラム以外の人も接する機会が放課後のイベントによって設けられ、留学に来ている人たちとモチベーションを維持し合うことが出来ていたように感じる。(経・1年)

ホームステイ

ルームメイトは私を含めて5人おり、私にとっては洗濯や家事を協働して行うことは初めての経験であり、とても良い勉強になった。例えば、洗濯をするにしてもまとめてした方が効率的であるため、皆でそれぞれの役割を決め、食器洗いや、掃除、洗濯などの家事を協力して進めることができ、チームのような一体感が生まれた。ホームステイで価値観の共有や、違いを認め合うことの重要性に気づくことが出来たので、今後の大学生活でも大切にしようと思った。(経・2年)

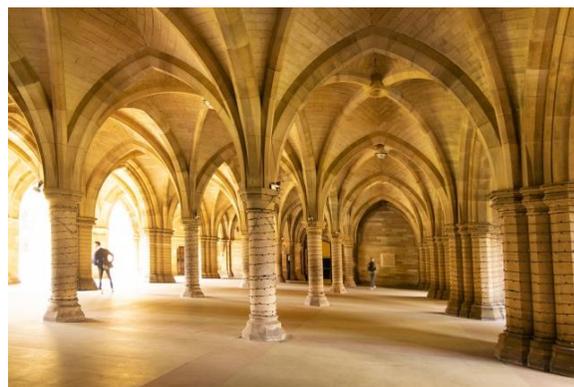
ファザーやマザー、そして自分のステイメイトとで毎晩の食後に食卓を囲みながら学校での話や仕事の話、ときにはアメリカの政治の話などを2時間ほど語り合ったことはとても印象に残っている。ファザーやマザーは私やホストメイトの話す拙い英語を真摯に聴いてくれて、自分もそれがうれしくて頭をひねりながら一生懸命英語を話した。それでも通じないときは身振り手振りを使うことで大体のことは伝えることができた。(法・3年)



- 所在地 英国スコットランド グラスゴー
- 都市情報 エジンバラの西に位置するスコットランド最大の都市。貿易港としての歴史を有する。また、チャールズ・レニー・マッキントッシュの作品建築群などデザイン分野でも注目されている。日本との時差は-9時間。サマータイム期間（23/3/26～23/10/29）は-8時間。7月の平均最高気温は19℃、平均最低気温は13℃。8月の平均最高気温は19℃、平均最低気温は12℃。

プログラム概要

派遣期間	2023年7月22日（土）～ 2023年8月27日（日）
研修先	1451年創立。英語圏最古の大学の一つで、英国のアイビーリーグともいわれる一流研究大学の連合であるラッセルグループのメンバー。本学の大学間学術・学生交流協定校。
クラス形態	オープンクラス(English for Academic Studyコース)
カリキュラム 16～23時間/週	<ul style="list-style-type: none"> ・5週間プログラム ・下記の6コースのいずれかを履修。 1. Accounting and Finance 2. Management 3. Science, Technology, Engineering & Urban Planning 4. Law 5. Social Sciences, Arts & Education 6. Biomedical Sciences <ul style="list-style-type: none"> ・レクチャー聴講やソーシャルプログラムに参加することにより、他国の学生と交流が可能。
語学要件	TOEFL-ITPスコア550点～上限なし
滞在先	学生寮（個別の部屋提供。シャワールーム付。キッチン・トイレは共有） *食事なし（自炊または外食対応が必要）
主な参加者 出身国	*夏季休暇中の為、日本人の割合が高い可能性があります。



■ 日程表

日次 / 月日(曜)	地名	スケジュール
1 7月22日(土)	東京(羽田)発	空路、フランクフルトへ
	フランクフルト着 フランクフルト発 グラスゴー着	フランクフルトで乗り継いでグラスゴーへ 研修先へ移動 <学生寮>
2 7月23日(日)	グラスゴー	調整日 <学生寮>
3 7月24日(月) 35 8月25日(金)	グラスゴー	グラスゴー大学にて研修参加 <学生寮>
36 8月26日(土)	グラスゴー発 フランクフルト着 フランクフルト発	空港へ移動 空路でフランクフルトへ フランクフルトで乗り継いで東京(羽田)へ <機中泊>
37 8月27日(日)	東京(羽田)着	

■ 参加費用 (概算)

参考費用 6月中旬に確定予定

1. 大学基金奨学金の算定対象に含まれるもの : 1,090,000円(参考費用)

- ・研修代金 (入学金、登録料、授業料、空港送迎代金、宿泊代、手続き・サポート代金)
- ・航空券代 (エコミー) ・空港諸税 ・空港施設使用料 ・燃油サーチャージ ・航空保険料 ・企画代金

2. 大学基金奨学金の算定対象に含まれないもの (個人負担) : 35,000円 (参考費用)

- ・海外旅行傷害保険料 ・危機管理サービス (OSSMA)

3. その他 (以下の項目については各自算出のこと)

- ・自宅から空港までの往復交通費 ・超過手荷物代金 (航空会社規定による) ・上記以外の渡航手続きにかかる一切の費用
- ・渡航先での小遣い、上記宿泊代に含まれない食費 ・宿泊先から大学までの交通費 ・課外活動費 (任意参加のもの)
- ・その他上記1及び2に含まれない費用



Sample Schedule

* スケジュールはあくまでも参考例です。諸事情により変更になる場合があります。

Social Sciences

Week 2	Session	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
Prejudice Macro-level features Croizet & Claire	9.00-10.30	9. CONSULTATIONS Check times with tutor Students must bring offer letter copy	11. LECTURE Essay structures and basic paragraph org.	13. LECTURE Using sources 2	15. LECTURE Intras and Concs Lexical links	17. GUEST LECTURE (L)
	11.00-13.00 Cohort B		12. TUTORIAL (R) Extending concept of Stereo-type threat	14. TUTORIAL (L) Stereotype threat Supplementary Listening	16. TUTORIAL (S) Seminar: Prejudice and Discrimination	18. TUTORIAL (S) Presenting & developing plans Flexi-consultation
	14.00-16.00 Cohort A		12. TUTORIAL (R) Extending concept of Stereo-type threat	14. TUTORIAL (L) Stereotype threat Supplementary Listening	16. TUTORIAL (S) Seminar: Prejudice and Discrimination	18. TUTORIAL (S) Presenting & developing plans Flexi-consultation
Process: Planning	AS/SSE, etc.	10. BACKGROUND PREPARING FOR A SEMINAR 1 (AS)	➔	4.15 – 5.00 Exploring your Options Lecture: New Block C students only	➔	➔
Key outcomes and submissions week 2		Reading list, summaries, thesis statement and title for consultation			Essay plan & draft Introduction Moodle	

Accounting & Finance

	9.00 – 10.30	11.00 – 1.00
Monday	Seminar: Cohesion	Tutorial: Reading + note-taking/language work
Tuesday	Guest Lecture: "Management Control Systems"	Tutorial: Critical thinking
Wednesday	Seminar: Presentation skills	Consultations
Thursday	Seminar: Writing - Expressing degrees of certainty	Tutorial: Lecture follow-up and discussion
Friday	Lecture: Reading – "Efficient Market Hypothesis"	Presentations: Critical summary of a text

Sample Schedule

*スケジュールはあくまでも参考例です。諸事情により変更になる場合があります。

Management

Week	Module	Main aims and key skills
1	Managing External Relationships	Introduction to academic writing; finding sources and reading a subject-specific text; following academic lectures; speaking in groups.
2	Managing Operations	Using feedback to improve written work; reading long and complex texts; listening to dialogues; discussing theories and developing a position
3	Managing Internal Relationships	Critical thinking; reading journal articles; discussing key concepts from guest lectures and reading; presentation skills
4	Managing Operational Finance	Developing an essay outline; using sources; reading an academic textbook; discussing a text
5	Review	End of course tests; review of learning objectives; feedback on progress.

Law

	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
9.30 – 11.00	Wr&R7 Writing input: Arguments and presenting opinions	Wr&R9 SSE Input 4: Using sources	Wr&R10 Reading: Pettet: Fiduciary duties Reading Strategies Take-in reading S172 Companies Act	Wr&R12 Writing: Writing feedback and Language work based on student needs	Wr&R13 Writing: Developing a Paragraph Work on paragraph from SSE
11.30 – 1.00	Wr&R8 Reading: Pettet Company Law – Directors' duties	Seminar 1 : <i>Professor Iain MacNeill</i> <i>Company law</i>	S&L4 Listening strategies: recorded seminar Professor McNeill – Directors' Duties and responsibilities Take-in task: lecture on corporate governance	S&L5 Speaking and Vocabulary: Intro to International law	S&L6 Speaking: Seminar Mini-presentation of cases Discussion Debate
2.00 – 3.30	Library tour Main Library Talk Dr. Kay Munro : Specialist Librarian on Legal resources	Workshop <i>Listening strategies</i> <i>Feedback on seminar</i>	Wr&R11 SSE Input 4: Avoiding plagiarism SSE outlines	Consultations	Consultations
			4.15 – 5.00 Exploring your Options Lecture for students new sts		

「グラスゴー大学は、良い“生活”が
できる大学です。」

(2019年度派遣学生によるキャッチコピー)

2019年度参加者からの声

授業・課題

“Students were expected to do autonomous studies throughout the course, and most of those were preparing for seminars or searching for resources to use in the essay. This made me feel like I was having a real university life in University of Glasgow. However, this does not mean we had few regular classes. Basically, we had two classes from Monday to Friday; one lecture in the morning and one tutorial in the afternoon. If there is anyone who is considering participating in this course but hasn't decided, I would highly recommend to just go for it. If you are thinking of doing your master or PhD course in English, then there cannot be any better option. However, for those who are just looking for a language course and want to improve their English skill as well, I am sure that this course would be amazingly helpful. It might not be the best choice to study English itself, but there are a lot more things you can learn from this course, and English skill will just follow.” (社・1年)

課外活動

“On weekdays, there was a chat club from 1pm to 2pm. I could have some good talk with the tutors and other students there with some free biscuits and tea. It was really helpful when I just got there, as they gave me some good information about quite a few decent restaurants around there. Also, while having a tea talk in the chat club, I realised how good it is to have a small talk with a cup of tea. And trying all those different kinds of tea, I got interested in tea itself as well, and started to try buying and brewing tea by myself. There was not so many social programmes in the course itself, so I went for a trip by myself every weekend to here and there, and realised that that time of the year (from late July to August) would be one of the best seasons to visit Scotland if you have only one month. For example, there was a huge festival called ‘Edinburgh Fringe Festival’ on August in Edinburgh, which is an hour away from Glasgow by train.” (社・1年)

学生寮

「私が泊まった寮は、Kelvinhaugh Gateという寮である。寮ごとに構成は異なると思うが、Kelvinhaugh Gateの場合には全ての部屋が個人部屋で、5つの個人部屋が1つのフラットになり、キッチンを共有する形になっていた。キッチンには基本的な料理道具や食器はもちろん、トースターやオープンなども備わっており、自炊をするにはいい環境であった。Kelvinhaugh Gateは、グラスゴー大学から徒歩15分ほどで、通学にも便利であった。また、学校の西側にWest Endという街があったが、ここには和食や、韓国料理を含んだ様々なレストランがあったので、遠くまで行かなくても満足に食事ができた。都市中心部までも徒歩30分ぐらいなので、授業後に気軽に中心部に出てショッピングや観光をすることができ、割と長い授業時間にも関わらず市内を観光する余裕はあった。さらに、寮の周りには他にも学生寮が多く、観光地で有名な博物館もあったので、治安も良い方であった。8月には午後10時ぐらいまで明るかったので、割と自由に歩いて移動することができた。」(社・1年)



■所在地 英国イングランド ブライトン

■都市情報 イングランド南部にある海辺の街で、イギリスでも有数のリゾート地。ビーチがあるため夏季は特に賑わう。首都ロンドンからは電車で約1時間。ロンドンに比べ街自体小さい、歴史的建築物や博物館、ショッピングセンターなどの施設が充実し、お洒落な浜辺の街として知られる。日本との時差は-9時間。サマータイム期間（23/3/26～23/10/29）は-8時間。7月の平均最高気温は20℃、最低気温は14℃。8月の平均気温は最高21℃、最低14℃。

プログラム概要

派遣期間 2023年7月29日（土）～
2023年8月27日（日）

研修先 1961年創立。社会科学の研究分野で優れた実績を残しており、開発学で世界1位（QS World Ranking 2020）。世界約120か国からの1万4千人の学部生・大学院生が学ぶ。学問領域にとらわれない学際的教育が特徴。Times Higher Educationによる世界大学ランキングにおいて、常にトップ150に入るイギリスでも有数の研究大学。

クラス形態 オープンクラス(Summer at Sussexコース)

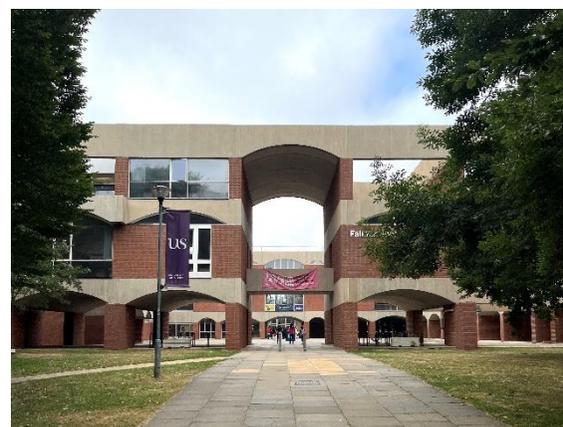
カリキュラム 21時間/週

- 以下の6つの内容から授業を構成。
Listening and speaking skills
Vocabulary development
Grammar
Reading skills
Writing skills
British Life and Culture
- 午後の授業の一環としてブライトン市内および近郊の歴史的な名所訪問。(ブライトンパビリオン、ルイス、アルンデルなどを予定)
- 滞在中、学部生の授業聴講の機会あり。(英語レベル制限あり。IELTS5.5点以上が目安。)

語学要件 TOEFL-ITPスコア480点～上限なし

滞在先 学生寮（個別の部屋提供。バスルーム付。）
*食事なし（自炊または外食対応が必要）

主な参加者 出身国 *夏季休暇中の為、日本人の割合が高い可能性があり
ます。





■ 日程表

日次 / 月日(曜)	地名	スケジュール
1 7月29日(土)	東京(羽田)発 ロンドン着	空路、ロンドンへ 研修先へ移動 (学生寮)
2 7月30日(日)	ブライトン	調整日 (学生寮)
3 7月31日(月) 28 8月25日(金)	ブライトン	サセックス大学にて研修参加 (学生寮)
29 8月26日(土)	ロンドン発	空港へ移動 空路、東京(羽田)へ (機中泊)
30 8月27日(日)	東京(羽田)着	

■ 参加費用 (概算)

参考費用 6月中旬に確定予定

1. 大学基金奨学金の算定対象に含まれるもの : 970,000円(参考費用)

- ・研修代金 (入学金、登録料、授業料、空港送迎代金、宿泊代、手続き・サポート代金)
- ・航空券代 (エコノミー) ・空港諸税 ・空港施設使用料 ・燃油サーチャージ ・航空保険料 ・企画代金

2. 大学基金奨学金の算定対象に含まれないもの (個人負担) : 35,000円 (参考費用)

- ・海外旅行傷害保険料 ・危機管理サービス (OSSMA)

3. その他 (以下の項目については各自算出のこと)

- ・自宅から空港までの往復交通費 ・超過手荷物代金 (航空会社規定による) ・上記以外の渡航手続きにかかる一切の費用
- ・渡航先での小遣い、上記宿泊代に含まれない食費 ・宿泊先から大学までの交通費 ・課外活動費 (任意参加のもの)
- ・その他上記1及び2に含まれない費用



8月のプライド・パレード (ブライトン)



Sample timetable

	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
09.00-10.30	Vocabulary	Grammar	Vocabulary	Grammar	Vocabulary
11.00-12.30	Listening and speaking	Reading skills	Listening and speaking	Writing skills	Listening and speaking
14.00-16.00	British life and culture	British life and culture		British life and culture	

*スケジュールはあくまでも参考例です。諸事情により変更になる場合があります。



ブライトンのウォールアート



イギリスの伝統的デザート
“イートンメス”



ブライトン・ビーチ



ブライトンのボートハウス



「サセックス大学は、緑あふれる学びに満ちた大学です。」

(2022年度派遣学生によるキャッチコピー)

2022年度参加者からの声

授業・課題

授業内の課題から授業の内容、授業外のアクティビティに関してまで兎に角、問いかけが多かった。英語を勉強する中で、こうした問いかけは大変助けになった。自分の考えを英語で簡潔にまとめるのは単純に思えて、意外に難しいものだし、伝わったときは何よりうれしかった。私は日本にいるとき、英語で会話することはまれだったため、非常にいい英語のトレーニングになった。(商・4年)

教科書はケンブリッジイングリッシュエンパワーというもので、基本的に授業はこの教科書に沿って進められた。トピックや話し合う質問は教科書に準拠していたものの、多くのアクティビティは生徒同士の会話や教師の問いかけに対して発言する方式で自由に発言できたり他の生徒と意見交換ができたりする授業だった。また、教室の椅子や机を動かしてチームを作ってゲームを行うなど生徒が飽きることなく楽しんで授業に参加できるような工夫が多くされていた。(社・2年)

課外活動

水曜日と金曜日の午後は授業がなかったため、ソーシャルプログラムという、先生が近場の観光地に連れていってくださるものがあった。大学から近いブライトンという街を案内していただいたときは、留学期間中に我々学生が頻繁に訪れる街であるということもあって、おすすめのお店などをたくさん教えてもらった。ブライトンにはお店がたくさん並んでいて、どこに行こうか迷ってしまうほどだったが、おすすめのスーパーやおいしいレストラン、値段が安い洋服屋など様々なジャンルのお店を教えていただいた。(法・2年)

週末を使ったりして、ブライトンはもちろん、隣町のルイス、語学学校の先生の故郷であったイーストボーン、そして電車で片道1時間半かけてロンドンを訪れたりした。私は今回イギリスに行く前、観光地をあまり調べておらず、ロンドンにあるビックベンくらいしか有名なスポットを知らなかったのだが、「次の放課後は何をしよう」「次の週末はどこへ行こう」と、地球の歩き方を見ながら計画を立てるのがとても楽しかった。(法・2年)

学生寮 (2022年度は、East Slope (Lullington) に滞在)

寮の良い点は、自由な行動のしやすさだ。ホームステイではステイ先の家族に気を遣うこともあるだろうし、大学から離れていたら時間の制約は大きくなる。確かに、自分のことは自分で何とかしなければならないが、寮の友達と協力することの大切さを感じ、メンバーとの絆も強くなる。寮での欠点は、同じ大学の人々が固まって生活するため、日本語を使う回数も増える。海外での寂しさを軽減してくれるメリットがある一方、英語だけに囲まれた環境で過ごしたい人にはデメリットといえるだろう。(経・2年)

食費を抑えるため、自炊をした。スーパーでは野菜や、特に魚介類の品ぞろえは悪かったが、乳製品、ハム等の肉加工食品、パスタ等日本では考えられない安価さで入手できるものも多く、うまく活用すれば豊かな食生活を送れるのではないかと感じた。オープンを使うことで、栄養バランスのよいグリルが簡単に作れたり、クッキーが焼けたりするのは本当に良かった。サセックス大学に研修に行く学生はぜひ活用するとよいと思う。(法・1年)



■所在地 英国イングランド ロンドン

■都市情報 ヨーロッパを代表する観光都市でもあるロンドンは、新旧様々な分野において「世界の一流」に出合えることが魅力。大英博物館をはじめとしたミュージアムのほか、音楽や芸術でも、偉大な歴史と最先端が共存する。広大な公園が点在し、緑が多いのも特徴の一つ。日本との時差は-9時間。サマータイム期間（23/3/26～23/10/29）は-8時間。8月の平均最高気温は23℃、最低気温は14℃。9月の平均気温は最高20℃、最低11℃。

プログラム概要

派遣期間 2023年8月19日（土）～
2023年9月10日（日）

研修先 1916年設立。学問領域にとらわれない学際的教育が特徴とされる。またアジアやアフリカ、中東地域の研究に特化した開発学研究の分野では、世界トップレベルの大学。Times Higher Educationによる世界大学ランキングにおいて、常にトップ150に入るイギリスでも有数の研究大学。

クラス形態 オープンクラス
(English Language Skillsコース)

カリキュラム 18時間/週
 ・3週間プログラム（週18時間）
 ・アカデミックなリーディング、ライティング、リスニング、スピーキング能力を向上させるプログラム。
 ・午前中の読み書きと午後のリスニングとスピーキングに焦点をあてた4つの言語スキルの開発をカバー。

語学要件 TOEFL-ITPスコア480点～上限なし

滞在先 学生寮（個別の部屋提供。バストイレ付の予定。）
*食事なし（自炊または外食対応が必要）

主な参加者 出身国 *夏季休暇中の為、日本人の割合が高い可能性があります。



ハリーマンで有名なキングクロス駅





■ 日程表

日次 / 月日(曜)	地名	スケジュール
1 8月19日(土)	東京(羽田)発 ロンドン着	空路、ロンドンへ 研修先へ移動 <学生寮>
2 8月20日(日)	ロンドン	調整日 <学生寮>
3 8月21日(月)	ロンドン	ロンドン大学東洋・アフリカ研究学院にて研修参加 <学生寮>
21 9月8日(金)		
22 9月9日(土)	ロンドン発	空港へ移動 空路、東京(羽田)へ <機中泊>
23 9月10日(日)	東京(羽田)着	

■ 参加費用

参考費用 6月中旬に確定予定

1. 大学基金奨学金の算定対象に含まれるもの : 1,070,000円 (参考費用)

- ・研修代金 (入学金、登録料、授業料、空港送迎代金、宿泊代、手続き・サポート代金)
- ・航空券代 (エコノミー) ・空港諸税 ・空港施設使用料 ・燃油サーチャージ ・航空保険料 ・企画代金

2. 大学基金奨学金の算定対象に含まれないもの (個人負担) : 35,000円 (参考費用)

- ・海外旅行傷害保険料 ・危機管理サービス (OSSMA)

3. その他 (以下の項目については各自算出のこと)

- ・自宅から空港までの往復交通費 ・超過手荷物代金 (航空会社規定による)
- ・上記以外の渡航手続きにかかる一切の費用
- ・渡航先での小遣い、上記宿泊代に含まれない食費 ・宿泊先から大学までの交通費 ・課外活動費 (任意参加のもの)
- ・その他上記1及び2に含まれない費用





Sample Schedule

1st Week

* スケジュールはあくまでも参考例です。諸事情により変更になる場合があります。

TIME	MON	TUE	WED	THU	FRI
10:00-12:00	8:00-12:00 Registration	Reading and Writing	Reading and Writing	Reading and Writing	Reading and Writing
13:00 - 15:00	12:00-14:00 Welcome talks, Campus Tours, Lunch	Listening and Speaking	Listening and Speaking	Listening and Speaking	Listening and Speaking
15:00-16:00	14:00-16:00 Reading and Writing	Library Tour	Welcome Picnic		

2nd Week

TIME	MON	TUE	WED	THU	FRI
10:00-12:00	Reading and Writing				
13:00 - 15:00	Listening and Speaking				
15:00-16:00	16:15- Study Talk				

3rd Week

TIME	MON	TUE	WED	THU	FRI
10:00-12:00	Reading and Writing				
13:00 - 15:00	Listening and Speaking	Listening and Speaking	Listening and Speaking	Listening and Speaking	Certificate Presentation and Farewell Party





「ロンドン大学は、様々な国を集め
小さな世界に凝縮したような大学です。」
(2022年度派遣学生によるキャッチコピー)

2022年度参加者からの声

授業・課題

リーディング・ライティングの授業は、テキストにある英文(例えばSOAS出身の偉人や環境問題に関する文章など)を読み、それに関する問いを答え、他の生徒たちと英語で解答やその文章で感じたこと等を論じ合うといった授業スタイルで、教師の話も面白く、英語を話す機会も多かったので非常に意義のある授業でした。宿題は毎日教師にその日の日記を提出するというものでライティングの練習になり、またその内容から教師が話しかけてくれて英語を話すきっかけにもなりました。(経・1年)

スピーキングの授業では、3回プレゼンテーションを行った。自己紹介と大英博物館の展示物と環境問題に取り組んでいる企業についてプレゼンテーションをした。先生や友達と相談して、修正しながら、プレゼンテーションを作った。授業外でも個人のプレゼンの練習を行ったため、スムーズに原稿を見ずにプレゼンテーションをすることができたと思う。また、ペアプレゼンもスライドを工夫し、練習をしっかりと行ったため、自信を持ってプレゼンテーションをすることができた。(社・2年)

課外活動

授業外の時間では様々な経験が出来た。自分が最も印象に残っているのは、現地でサッカーをしたことだ。Footy addictsというサイトを活用して自由参加型のサッカーに何度か参加した。会場に行くと互いに見ず知らずの男たちが集まっており、様々なバックグラウンドの人たちがいた。自分がこの活動から学んだこととして、人々はいかなる背景や境遇にいても、言語以外の方法でつながり、お互いを深く理解することが出来るということだ。(法・3年)

ロンドンの中心地に学校があったこともあり、ロンドンの観光は放課後でほとんど完了した(ミュージカルが最も印象的であった)。そのため週末は、バスツアーに予約してウィンザー城、ストーンヘンジ、バースを巡った。ツアーにはガイドさんが付いており、自分のリスニング力を試したり、またほかの観光客との交流でまた英語を使ったりと、これもいい機会になった。自分の力で電車やバスなどを使って遠出をするのも魅力的ではあるが、言語学習を同時に行いたいと思う人には、バスツアーもおすすめの手段である。(社・2年)

学生寮 (2022年度は Dinwiddy House に滞在)

寮で特に印象的だったことは、中国人の留学生と話したことだ。彼は、SOASに4年間在学していて、今年から院に進むと言っていた。専攻は、東洋美術の水墨画だと言っていた。彼は日本語を話すことができ、日本語と英語を織り交ぜながら、コミュニケーションをとった。また、彼は日本のアニメに造詣が深く、アニメの話で盛り上がった。日本語が話せるのも、アニメを多く見ていたからだったそうだ。今まで、英語学習というものを重くとられていた私にとって、そのように自分の趣味と関連させながら語学を学ぶという彼の姿勢は新鮮であり、とても参考になった。(社・2年)

共用キッチン、冷蔵庫やコンロはもちろん、電子レンジや電気ポットなどもあり、快適に使用することができた。また、共用であるため他の部屋の生徒とともに料理をしたり、食事をしながら会話をしたりすることもできた。セキュリティに関しては、想像していたよりもずっと強固であった。(商・2年)



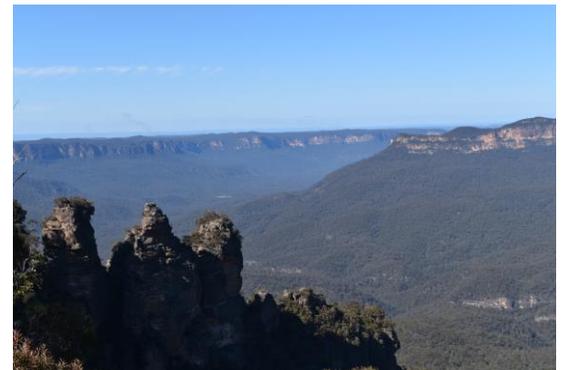
- 所在地 豪州ニューサウスウェールズ州 シドニー
- 都市情報 オーストラリア東南部にある都市で、ニューサウスウェールズ州の州都。同国の商工業の中心地。積極的に移民を受け入れてきたため、シドニーの人口の3分の1以上は海外出身者で、主にイギリス、アイルランド、東南アジアなどからの移民者やその子孫。使用されている言語も20以上の国際都市。日本との時差は+1時間。平均最高気温は、7月が17℃、8月が19℃。平均最低気温は7月が9℃、8月が10℃。

プログラム概要

派遣期間	2023年7月29日（土）～ 2023年8月27日（日）
研修先	1850年創立のオーストラリア最古の大学。その国際的視野が高い評価を受けている。オーストラリア国内主要8大学を総称する「グループ・オブ・エイト」の1校。豪州首相やノーベル賞受賞者を輩出している。学生数は5万人。
クラス形態	クローズド
カリキュラム 20時間/週	<ul style="list-style-type: none"> ・一橋大学生のみのクローズドクラスです。 ・グローバルイングリッシュプログラム（午前） ・午後はテーマ別のワークショップを予定（7回を予定）
語学要件	TOEFL-ITPスコア450点～上限なし
滞在先	ホームステイ *平日 2食、週末 3食付 ※ダブルプレースメントの可能性あり。
主な参加者 出身国	*夏季休暇中の為、日本人の割合が高い可能性があります。



Bondi Beach



Blue Mountains





■ 日程表

日次 / 月日(曜)	地名	スケジュール
1 7月29日(土)	東京(羽田)発 シドニー着	空路、シドニーへ 研修先へ移動 (ホームステイ)
2 7月30日(日)	シドニー	調整日 (ホームステイ)
3 7月31日(月) 29 8月25日(金)	シドニー	シドニー大学にて研修参加 (ホームステイ)
30 8月26日(土)	シドニー発	空港へ移動 空路、東京(羽田)へ (機中泊)
31 8月27日(日)	東京(羽田)着	

■ 参加費用

参考費用 6月中旬に確定予定

1. 大学基金奨学金の算定対象に含まれるもの：920,000円（参考費用）

- ・研修代金（入学金、登録料、授業料、空港送迎代金、宿泊代、手続き・サポート代金）
- ・航空券代（エコミー）・空港諸税・空港施設使用料・燃油サーチャージ・航空保険料・企画代金

2. 大学基金奨学金の算定対象に含まれないもの（個人負担）：37,000円（参考費用）

- ・海外旅行傷害保険料・危機管理サービス（OSSMA）・豪州電子渡航認証（ETAS）費用

3. その他（以下の項目については各自算出のこと）

- ・自宅から空港までの往復交通費・超過手荷物代金（航空会社規定による）
- ・上記以外の渡航手続きにかかる一切の費用
- ・渡航先での小遣い、上記宿泊代に含まれない食費・宿泊先から大学までの交通費・課外活動費（任意参加のもの）
- ・その他上記1及び2に含まれない費用





Sample Schedule

Draft timetable

*スケジュールはあくまでも参考例です。諸事情により変更になる場合があります。

Week 1	31 July 23 Monday	1 Aug 23 Tuesday	2 Aug 23 Wednesday	3 Aug 23 Thursday	4 Aug 23 Friday
Session 1 8:30-10:30am	8:00 Orientation 8:30-10:30 Global English	Global English	Global English	Global English	Global English
Session 2 10:45-12:45pm	Global English	Global English	Global English	Global English	Global English
Afternoon	Free afternoon/ Enrich your program with a workshop	1:45-3:45pm Campus Tour Student Ambassadors	Free afternoon/ Enrich your program with a workshop	1:45-3:45pm Workshop	Free afternoon/ Enrich your program with a workshop
Week 2	7 Aug 23 Monday	8 Aug 23 Tuesday	9 Aug 23 Wednesday	10 Aug 23 Thursday	11 Aug 23 Friday
Session 1 8:30-10:30am	Global English	Global English	Global English	Global English	Global English
Session 2 10:45-12:45pm	Global English	Global English	Global English	Global English	Global English
Afternoon	Free afternoon/ Enrich your program with a workshop	1:45-3:45pm Workshop	Free afternoon/ Enrich your program with a workshop	1:45-3:45pm Workshop	Free afternoon/ Enrich your program with a workshop
Week 3	14 Aug 23 Monday	15 Aug 23 Tuesday	16 Aug 23 Wednesday	17 Aug 23 Thursday	18 Aug 23 Friday
Session 1 8:30-10:30am	Global English	Global English	Global English	Global English	Global English
Session 2 10:45-12:45pm	Global English	Global English	Global English	Global English	Global English
Afternoon	Free afternoon/ Enrich your program with a workshop	1:45-3:45pm Workshop	Free afternoon/ Enrich your program with a workshop	1:45-3:45pm Workshop	Free afternoon/ Enrich your program with a workshop
Week 4	21 Aug 23 Monday	22 Aug 23 Tuesday	23 Aug 23 Wednesday	24 Aug 23 Thursday	25 Aug 23 Friday
Session 1 8:30-10:30am	Global English	Global English	Global English	Global English	Global English
Session 2 10:45-12:45pm	Global English	Global English	Global English	Global English	Global English
Afternoon	Free afternoon/ Enrich your program with a workshop	1:45-3:45pm Workshop	Free afternoon/ Enrich your program with a workshop	1:45-3:45pm Workshop	1:00-2:15pm Graduation Ceremony and light lunch



「シドニー大学は、新しい自分のあり方に 気づける大学です。」

(2019年度派遣学生によるキャッチコピー)

2019年度参加者からの声

授業・課題

「授業は主に、学生同士のディスカッションが7割、先生による授業が3割ほどで進行する。ディスカッションの内容は、簡単なものでは身の回りのニュースや最近行った場所について、難しいものでは英語の文法、倫理、社会問題などを扱うため、適度に頭を休められる一方、適度に頭を使うことができ、集中力が切れることなくディスカッションに参加できる。」(経・4年)

「印象に残っているのは、毎週月曜日の1コマ目に、前週で自分の英語スキルで弱かったところを挙げ、そのスキルを伸ばすために、この1週間、毎日することの目標を立て、実行しよう、ということだ。長期目標としては、英語のスキルを向上させる、ということで学生同士共通していることと思うが、1週間という細かいスパンで具体的な目標を立てることが、達成につながるのだと感じた。」(経・1年)

課外活動

「友人とシドニー観光をすることができたことは良い経験となった。非常に興味深く感じたことは、多くのお店が朝早くに始まり、夜は早く閉じるということだ。スーパーマーケットなどの店は夜遅くまでやっているが、24時間営業の店はほとんどなく、日本との差を感じた。多少物価が高いとは感じたもののさほど気にならない程度であり、不便など一切感じず、むしろ朝からお店がやっていることは慣れてしまえば非常に便利に思えた。」(経・1年)

「現地についたらなるべくグーグルマップを使わず、外国のかたに道を尋ねようと決めていたのでドキドキしながら道を尋ねると、レッドファーン駅からシドニー大学まで付き添ってもらえた。よく日本人は外国人よりも親切だという印象をもつ人がいるが、案外そうでもないと思った。」(経・1年)

ホームステイ

「印象的な出来事は、同じくそこでステイをしていた中国人女性とグランマとの会話だ。その中国人女性は、初日のご飯を見て野菜が欲しいと言った。確かに、夕食に野菜がないことは私も気になっていたが、それをいう事は失礼だと思っていた。しかし、翌日から野菜がでるようになった。グランマいわく、不満があればそれを言ってもらわないと作り続けてしまうので、意見があったら言ってほしい、とのこと。このように、他人からの要望を失礼と捉えず、一つの意見として受け入れるという精神性は見習いたい。」(経・4年)

「私はホストマザーと料理をきっかけに仲良くなることができたが、きっかけは何でも良い。食事中もホストファミリーと話す絶好の機会なので、最大限活用するべきだ。また、友達の話や他のホストファミリーを羨ましいと感じることがあると思う。しかし、そこがっかりして終わるのではなく、与えられた環境の中で、いかにホストファミリーと積極的にコミュニケーションを取ることが重要だ。そうすることで自分の英語の能力もぐんぐん上がるのではないかと思う。」(経・1年)



教務課 グローバルスキルズチーム